

Java フレームワークまとめ

名称

特徴

Struts

MVCモデルを採用したフレームワーク。独自のカスタムタグの利用や、画面遷移の管理、入力チェック機能の提供がある。脆弱性に難あり。

JSF(Java
Server
Faces)

Javaベースのフレームワークで、JavaEEの仕様にも採用されている標準フレームワーク。MVCモデルを採用しているが、Strutsの様な「アクションベース」ではなく、「コンポーネントベース」である。デザインの確認がしやすい。

Spring
Framework

環境に依存する機能を外部から提供可能とするオープンソースなフレームワーク。オブジェクトの関連付けなどを管理する「Coreモジュール」、JavaBeansへのアクセス機能を提供する「Context モジュール」など7種類のモジュールで構成される。Webアプリケーションだけでなく、多様なアプリケーションに適用可能。Springを採用しているシステムも比較的多く、使い勝手も良い。

SAStruts
(Super Agile
Struts)

日本のオープンソースプロジェクトである SeaserプロジェクトがStrutsをベースとして開発したフレームワーク。設定ファイルの自動生成機能により、設定作業時間が大幅に削減。プログラムを書き換えた場合でも再起動することなく実行でき、スピーディーなプログラミングを可能にする。